

Osaka Metro まちさんぽ

西田辺駅

70分
コース

御堂筋線 西田辺駅

猿山新田の西田辺

猿や狸の棲む原野が開墾されて新田に

かつてこのあたりは猿や狸が出没する荒れた原野で、そこに奥田市兵衛が江戸時代中期に新田を開墾し「猿山新田」と名づけました。明治初期、猿山新田の住戸は約28戸と記録されたさびれた農村だったようです。明治22年(1889)に近隣の北田辺村、南田辺村、松原新田と合併して田辺村になりました。



スタート駅

御堂筋線
西田辺駅

④号出口

1

奥田邸
クスノキの保存樹

2

猿山地蔵尊

3

長池公園

4

山阪神社

5

難波大道跡

6

田辺大根の碑
法楽寺

7

神馬塚

8

下高野街道

9

(恩楽寺)
模擬原爆投下跡の碑

ゴール駅

谷町線
田辺駅

約70分

猿山新田は、まさに猿が棲む山というので名づけられたとされ、現在は地元的地蔵尊にのみその名をとどめています。このあたりは大和川の土砂で肥沃な土地が形成され、江戸時代は米麦のほか、カブラ、アブラナ、ナス、キュウリや有名な田辺大根など多種の野菜を栽培していました。

西田辺駅
70分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

御堂筋線 西田辺駅

猿山新田の西田辺

猿や狸の棲む原野が開墾されて新田に

かつてこのあたりは猿や狸が出没する荒れた原野で、そこに奥田市兵衛が江戸時代中期に新田を開墾し「猿山新田」と名づけました。明治初期、猿山新田の住戸は約28戸と記録されたさびれた農村だったようです。明治22年(1889)に近隣の北田辺村、南田辺村、松原新田と合併して田辺村になりました。

スタート駅

約 70 分

ゴール駅

御堂筋線西田辺駅④号出口

谷町線田辺駅

1 奥田邸・クスノキの保存樹

猿山新田を開墾した奥田市兵衛の子孫の方が住まれています(非公開)。邸内には大阪市指定のクスノキの保存樹があり、外からうかがえます。新田の開墾時に防風のために森林を造成して「猿山の森」と呼ばれていたそうで、その森の名残である奥田邸裏の高さ23.5mの巨木は大阪市保存樹の第1号となり、のちに前庭のクスノキも保存樹に追加指定されました。



2 猿山地蔵尊

寛文3年(1663)に南田辺村の奥田市兵衛が沼地を開墾して猿山新田とし、新田に祀られた地蔵尊が伝えられています。大正14年(1925)に大阪市域に編入されるときに田辺町大字猿山から西田辺町に改称され、いまこの地蔵尊だけが「猿山」を継承しています。



3 長池公園

田辺地域に広がる農地に用水を供給する灌漑池がこのあたりにはいくつもありましたが、都市化によって多くは埋め立てられました。長池もそのひとつで、南北に細長い溜め池でしたが、現在は中央部が埋め立てられて公園になっています。もとは北方の桃ヶ池まで連なっていたようです。



4 山阪神社

飛鳥時代、渡来系氏族の田辺氏がこのあたりを支配し、地名の田辺も田辺氏に由来するものです。田辺氏が祖先神を祀ったのが山阪神社(江戸時代までは山坂神社)で、田辺神社とも呼ばれていました。創建時期は不明ですが、主祭神は天穂日命と相摸の神とされる野見宿禰命で、かつて境内で奉納相撲が行われ、境内にその名残の6個の力石が置かれています。



5 難波大道跡

難波大道は『日本書紀』推古天皇21年(613)の条に「難波より京(飛鳥)に至る大道を置く」とあるわが国最初の官道(国道)で、難波から南へ竹内街道に接続して飛鳥まで通じていました。大道の軌跡が法楽寺西門前の道です。



6 法楽寺・田辺大根の碑

法楽寺は源平の戦いで戦死した武士の霊を弔うために創建されたと伝わり、『平家物語』には平重盛が厚く信奉したと書かれています。真言宗の寺院で本殿には不動明王が祀られ、平成8年(1996)に落慶した三重塔には金剛界大日如来が祀られています。境内には樹齢約800年のクスノキがあり、また田辺大根の碑があります。田辺大根は江戸時代から全国に知られたなにわ伝統野菜で、大正期に品種改良されて法楽寺の西横門付近で盛んに栽培されたことから横門大根ともいわれました。



7 神馬塚

住吉大社の神馬は、代々田辺で飼育されてきました。伝説によると神功皇后が朝鮮半島から持ち帰った白馬を住吉大社で飼育していましたが、馬は大社から逃げて田辺の地を好んだところから、田辺の住民が世話をするようになったそうです。戦前まで神馬は朝夕、田辺と住吉大社を往復していました。神馬塚はその馬のお墓です。



8 下高野街道

平安時代に高野山詣でが盛んになると、京から高野山に通じる主な街道として東・西・中・下の高野街道が生まれました。天王寺から田辺を経由して現在の堺市北野田に通じる道が下高野街道で、狭山街道ともいわれ、田辺の人々には大切な生活道路でもありました。



9 模擬原爆投下跡の碑(恩楽寺)

終戦直前、長崎に投下された原爆と同じ型・重量で通常火薬を使用した5トンの巨大爆弾が、原爆投下の訓練として日本各地で投下されました。このことが機密解除された米軍資料から明らかになり、昭和20年(1945)7月26日に田辺に投下されたことが判明しました。投下地は150mほど北ですが、恩楽寺正門に碑があります。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2024年1月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行: Osaka Metro

協力: 一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援: 歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行